

奥能登原木しいたけ 「のとてまり」・「のと115」だより

<発行者> 奥能登原木しいたけ活性化協議会、石川県農林総合研究センター

二十四節気の雨水になり、春の気配が近づいています。春子の収穫とともに、植菌作業に着手されていることと思いますが、植菌及びその後の管理作業が発生量に影響しますので注意して取り組みましょう。

植菌作業に向けて

◇ のとてまり作りは既に始まっています！！

- ・ **購入した原木はしっかり管理しましょう！**

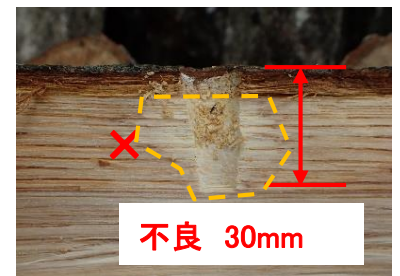
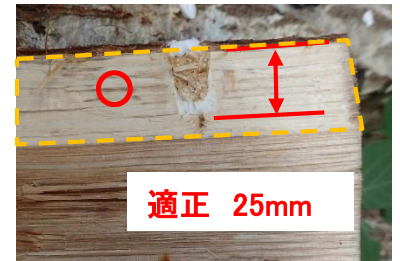
購入した原木は、運搬用の枠から出して棒積みし、シートをかけて保管します。雨や雪に当てると水分過多になるほか、直射日光にあてると表面が乾燥し樹皮が剥がれるなどして、シイタケ菌の活着が悪くなります。

- ・ **形成菌は届いたら速やかに植菌しましょう！**

形成菌は苗ものと同じです。時間が経つと種菌が乾燥したり、発泡栓が浮いたりして活着が悪くなります。

- ・ **休憩時に穴の深さを確認しましょう！**

キリ(ドリル刃)は深さ25mmに調節します。穴が深すぎると種菌が乾燥しやすくなり、菌の伸び(点線で囲んだ部分)が悪くなります。また、バネストッパーが緩んで穴が深くなることがあるので、休憩時には穴の深さを確認しましょう。



虫害を防ぎましょう！

◇ 昨年秋に被害が出たハウスは要注意！

普通のハエ取り紙(リボン)で構いませんので、出入り口付近や側面などの虫が侵入してくる開口部やほだ木の間などに設置しましょう。なお、これにより虫害被害を完全に防げるわけではありませんので注意しましょう。

◇ 古ホダからの春子の収穫時期です

虫害に気をつけるのはもちろん、気温が高く雨の影響も受けやすいので、雨子にならないよう管理し、傘が開ききる前に収穫しましょう。

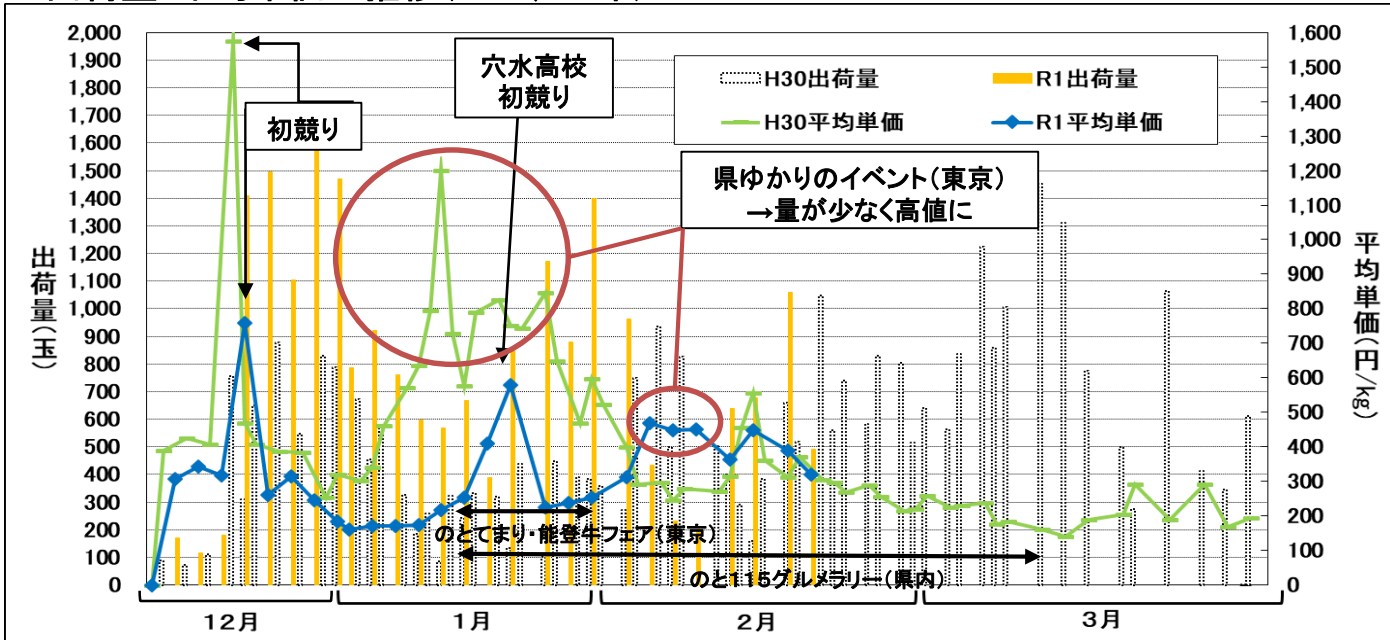


写真上 ほだ木の間のリボン
写真下 リボンに捕まった虫

※裏面もご覧ください。

共選「のとてまり」・「のと115」市況報告

■出荷量・平均単価の推移(H30、R1年)



■2月の動向(2月1日～15日)

	出荷量 (玉)	平均単価 (円/玉)
共選のと115 (H30年比)	3,851 (0.8倍)	230
のとてまり (H30年比)	342 (0.5倍)	1,912

今シーズンの出荷量は、12～1月はH30年を上回っていましたが、2月に入り前年を下回る日が多く見られました。平均単価は、2月の出荷量の減少により昨年よりも高値となりました。

県内の飲食店26店舗において、のと115を使用した創作料理を提供する「のと115グルメラリー」(~3月8日(日))を開催し、多数のご注文をいただいていますので、積極的に共選に出荷しましょう！

共選出荷カレンダー (3月)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
	○					

※ 生育状況を鑑み、今シーズンは連日出荷を実施しないこととします。

- ・全農いしかわ穴水事務所(脊戸)
- ・日本きのこセンター北陸駐在(平野、梶川)
- ・石川県農林総合研究センター(能登駐在)(八島)
- ・石川県奥能登農林総合事務所 森林部(森川)

- Tel 0768-52-1240
- Tel 076-223-2956
- Tel 0768-67-2104
- Tel 0768-26-2329